

Rosas

J. S. Bach

Rosas

John Coltrane

Mitten wir im Leben sind /

Rosas
ローザス

振付：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル / ローザス

音楽：J.S. バッハ〈無伴奏チェロ組曲〉 チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス Jean-Guihen Queyras (Cello)

出演：ローザス Rosas / Boštjan Anžončič, Anne Teresa De Keersmaeker, Marie Goudot, Julien Monty, Michaël Pomero

Bach 6 Cellosuiten

Anne Teresa De Keersmaeker,
Jean Guihen Queyras / Rosas

我ら人生のただ中であって／
バッハ無伴奏チェロ組曲

2019. 5.18 sat. – 19 sun.

東京芸術劇場プレイハウス
Tokyo Metropolitan Theatre, Playhouse



MITTEN WIR IM LEBEN SIND / BACH 6 CELLOSUITEN © Anne Van Aerschoot

A Love Supreme

Rosas
ローザス

振付：サルヴァ・サンチス、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル / ローザス

音楽：ジョン・コルトレーン〈至上の愛〉 John Coltrane 'A Love Supreme'

出演：ローザス Rosas / José Paulo dos Santos, Bilal El Had, Jason Respilieux, Thomas Vantuycom

至上の愛

Salva Sanchis,
Anne Teresa De Keersmaeker / Rosas

2019. 5. 9 thu. – 12 sun.

東京芸術劇場プレイハウス
Tokyo Metropolitan Theatre, Playhouse



A Love Supreme © Anne Van Aerschoot

芸劇 dance



A Love Supreme

至上の愛 World premiere
23. February. 2017, Kaaitheater, Brussels (Belgium)

2019. 5.9 thu. 19:30 / 5.10 fri. 19:30 / 5.11 sat. 15:00 / 5.12 sun. 15:00



©Anne Van Aerschot

一般発売：2019年3月9日(土) 10:00～

東京芸術劇場ボックスオフィス WEB先着先行発売：2019年3月2日(土) 10:00～3月5日(火) 23:59

料金(全席指定・税込)：S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000

65歳以上(S席) ¥5,500 / 25歳以下(A席) ¥3,000 / 高校生割引 ¥1,000

※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い。
(枚数限定・入場時要証明書)
※未就学児入場不可 ※障害をお持ちの方＝割引料金でご観劇いただけます。詳しくは劇場ボックスオフィスまで。

※東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。(有料・定員制・希望日1週間前迄に要申込)
ご予約受付・お問合せ：HITOWA キャリアサポート株式会社 わらべうた 0120-415-306 (平日9:00-17:00)
*やむを得ぬ事情により、内容が変更になる場合がございます。

チケット取扱い
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00-19:00) www.geigeki.jp/t
チケットぴあ http://pia.jp/t/ (PC・携帯) 0570-02-9999 (音声自動応答)【Pコード：492-140】
ローソンチケット http://l-like.com/ (PC・携帯) 0570-084-003 (音声自動応答)【Lコード：31373】
e+ (イープラス) http://eplus.jp (PC・携帯)

お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00-19:00) www.geigeki.jp

コンテンポラリーダンス・シーンをリードし続けるフロンランナー
「ローザス」待望の来日公演！

1983年に、振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルを中心に、ベルギー／ブリュッセルで結成されたダンスカンパニー、ローザス。音楽と身体運動の関係を徹底的に分析し構築する創作姿勢は、世界的に高い評価を得ています。今回の来日では、モダン・ジャズ界の巨星ジョン・コルトレーンの「至上の愛」、チェリストにとって聖典的作品ともいえるバッハの「無伴奏チェロ組曲」に着想を得て振付けられた新作を連続上演します。共に“神への捧げもの”という深い思いが込められた音楽史上の傑作にローザスがどう挑むか。ご期待ください。

ジョン・コルトレーン 〈A Love Supreme ～至上の愛〉について
『A Love Supreme ～至上の愛』は、ジョン・コルトレーン (テナー・サクソ、声) が、マッコイ・タイナー (ピアノ)、ジミー・ギャリソン (ベース)、エルヴィン・ジョーンズ (ドラム) のカルテットで1964年にスタジオ録音され、1965年に発表されたモダン・ジャズの金字塔的作品。インドやアフリカの民族音楽にも影響を受けたとされ、4つのパートから成る組曲構成となっている。

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル Anne Teresa De Keersmaeker
ベルギーの振付家、ダンサー。ローザス芸術監督。ブリュッセルの舞台芸術学校Mudraとニューヨーク大学で学び、1983年に自身を含む4人の女性ダンサーでカンパニー「ローザス」結成。ケースマイケルのダンス作品は、音楽と密接な関係にあり、バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、バルトーク、ライヒ……さらにはマイルス・デイヴィスやジョン・コルトレーン、インド古典音楽など、取り上げてきた音楽は多岐に渡る。劇作家、美術家、衣装デザイナーらとのコラボレーションも多数。1995年には舞台芸術学校PARTSも設立し、若手アーティストの育成にも寄与している。

サルヴァ・サンチス Salva Sanchis
振付家、ダンサー。スペイン生まれ。バルセロナでアクロバットや合気道を学び、1995年から1998年までPARTSに在籍。2003年のローザス作品『ピッチェズ・ブリュー / タコマ・ナロウズ』にダンサーとして参加、続いて作品『デッシュ』を、ダンサー兼振付家としてアンヌ・テレサと共作する。ジャズ音楽への深い造詣、また即興 (インプロヴィゼーション) への強い探究心も併せ持つ稀有な才能である。

Mitten wir im Leben sind / Bach6Cellosuiten

我ら人生のただ中にあって／バッハ無伴奏チェロ組曲

World premiere
26. August. 2017, Ruhrtriennale (Germany)

2019. 5.18 sat. 15:00 / 5.19 sun. 15:00



©Anne Van Aerschot

東京芸術劇場プレイハウス Tokyo Metropolitan Theatre, Playhouse

主催：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都／アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
後援：ベルギー王国大使館



東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1
tel. 03-5391-2111
アクセス：JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。
池袋地下通路の2b出口直結。

ローザス Rosas
芸術監督のアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルを中心に、ベルギー／ブリュッセルで1983年に設立されたダンスカンパニー。毎年1-2作品のペースで精力的に新作を発表し、王立モネ劇場やカイシアターはもとより、ロンドン・サドラーズ・ウェルズ、パリ市立劇場や国立オペラ座、NYのBAMなど、世界各国で上演を続けている。代表作に『Fase – Four Movements to the Music of Steve Reich』(1982)『Rosas danst Rosas』(1983)『Drumming』(1998)『Rain』(2001)『Zeitung』(2008)『Vortex Temporum』(2013)『WORK/TRAVAIL/ARBEID』(2015) など。www.rosas.be

ジャン＝ギアン・ケラス (チェロ) Jean-Guihen Queyras / Cello
1967年、カナダ／モントリオール生まれ。リヨン国立高等音楽院、フライブルク音楽大学、ジュリアード音楽院でチェロを学ぶ。レパートリーはバロックから現代音楽までと幅広く、ウィーン楽友協会、コンセルトヘボウ、カーネギーホール等、欧米の権威あるコンサートホールの多くでリサイタルを行う。現代屈指のバッハ弾きとしても演奏オファーが絶えない。2002年グレン・グールド国際プロテジェ賞受賞。



©Anne Van Aerschot

J.S. バッハ 〈無伴奏チェロ組曲 6 Cello Suites, BWV 1007 - 1012〉について
チェロの独奏用に書かれたとされる6曲の組曲。単なる練習曲と目されていた曲がバプロ・カザルスにより再発掘され、その後多くのチェリストにとって聖典のように演奏される名曲となった。ちなみに「我ら人生のただ中にあって」とは、宗教改革を主導したマルティン・ルターの言葉。音楽は神からの賜物とするルターの思想は、バッハの音楽づくりの精神的な源流ともみなされている。